

# 健康フロンティア戦略（健康寿命を伸ばす科学技術の振興）

（平成17年度～平成26年度）

## 我が国は超高齢化社会への道

10年後の平成27年（2015年）には、高齢者数が3300万人と予測  
「明るく活力ある社会」を構築 と「健康寿命」の延伸

糖尿病・がん等の  
疾病の罹患と死亡を減らす

要介護になることを防ぐ

働き盛り層  
生活習慣病と心の健康

女性層  
女性のがん

高齢者層  
介護予防

## 健康寿命を伸ばす科学技術の振興

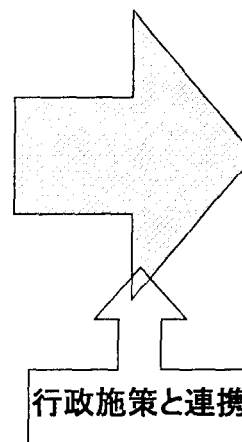
先端科学技術の導入と生活習慣病・介護予防研究の推進

### 健康安心の推進（健康寿命の延伸）

- 糖尿病等の生活習慣病対策の推進
- 介護予防の推進

### 先端医療の実現

- ゲノム科学・たんぱく質科学・ナノテクノロジー等の応用
- 先端医療の実用化、治験環境の整備の推進



目標について各種  
施策の総合的な効果により、

- 生活習慣病の  
死亡率・発生率  
の改善
- 要介護者の減少  
等を目指す。

行政施策と連携

# メディカル・フロンティア戦略の着実な実施について

## 1 概要

地域医療との連携を重視しつつ、先端的科学の研究を重点的に振興するとともに、その成果を活用し、予防と治療成績の向上を果たすための総合的な戦略（平成13年度から17年度まで）。

平成17年までに次の戦略を達成する。

- ① がん患者の5年生存率（治癒率）の20%改善
- ② 心筋梗塞・脳卒中の死亡率の25%低減（年間5万人以上）
- ③ 自立している高齢者の割合を5年度に90%程度に高め、疾病等により支援が必要な高齢者を70万人程度減らす。

## 2 進捗状況

平成15年度までに、痴呆、がん、糖尿病、高血圧等の画期的な新薬の発見のため、主要疾患の原因となるタンパク質を解析し、一部を同定したところであり、引き続き実施していく研究等の成果を踏まえて、今後達成状況を把握することとしている。

また、平成17年度から「メディカル・フロンティア戦略」を発展的に「健康フロンティア戦略」（別紙）に含め、糖尿病対策に係る大規模戦略研究、第3次対がん10か年総合戦略における研究や老化、痴呆等の介護予防対策に資する研究など健康寿命を伸ばすために必要な研究を引き続き実施していく。

# 国立がんセンター がん予防・検診研究センターの開設について

## 1. 概 要

メディカル・フロンティア戦略に基づき、がん対策の充実の一環として、①国立がんセンターにおける新たながん予防のための先端的検診技法の研究開発、②最新検診技術による標準的ながん検診手法の確立及び全国への技術移転等を推進するためのがん予防・検診研究センターを平成15年10月1日に設置し、平成16年2月から運営を開始した。

## 2. 施 設 等

- (1) 施設規模 6, 700 m<sup>2</sup>程度
- (2) 検診対象 6, 000人/年実施
- (3) 場 所 東京都中央区築地5-1-1 (国立がんセンター内)
- (4) 機 能
  - ① 検診部門
    - ・ 研究開発のための一般的検診及び最新検診技術による検診の実施
  - ② 検診技術開発部門
    - ・ 新たながん予防のための先端的検診技法及び検診機器の研究開発
    - ・ 最新検診技術による標準的ながん検診手法の確立
  - ③ 予防研究部門
    - ・ ゲノム情報に基づく効果的な予防研究等
  - ④ 情報研究部門
    - ・ がん検診の情報の収集及びがん検診手法の情報発信

## 国立長寿医療センターの開設について

### 1 概 要

人口高齢化に伴い、痴呆性老人や寝たきり老人等、加齢に伴い発症する疾病への対処が問題となっている中で、豊かで活力ある長寿社会に向けた総合的戦略（メディカルフロンティア戦略）の推進が重要となっている。

この戦略に基づき、疾病等により支援が必要な高齢者を減らし自立している高齢者の割合を高めることを目標に、①老化機構の解明及び高齢者に特有の疾病の原因解明、②高齢者の心身の特徴を考慮した予防・診断・治療の確立と普及、③高齢者の社会的・心理的諸問題の研究成果を取り入れた全人的・包括的医療に関する診療体制等の充実強化を図る必要がある。

この先導的役割を担う施設として、国立療養所中部病院及び長寿医療研究センターの機能の充実強化を図り、国立高度専門医療センター（ナショナルセンター）として開設した。

### 2 開 設 日 平成16年3月1日（月）

### 3 所 在 地

〒474-8511 愛知県大府市森岡町源吾36-3（Tel.0562-46-2311）

### 4 施設の概要

入院病床数 300床（一般）

### 5 主たる機能

#### （1）診 療 機 能

- ① 老年病に対する再生医学、遺伝子治療等の高度先駆的医療
- ② 痴呆や骨粗鬆症等により喪失した心身機能の再建及び回復に関する医療
- ③ 入院から退院までに至る全人的・包括的医療

#### （2）研 究 機 能

- ① 老化・老年病に対する分子から細胞レベルでの基礎的研究
- ② 疾患の解明や克服のための基礎的研究成果を診療に応用する応用研究
- ③ 長寿医療・長寿社会に関する政策、医療経済等の社会医学や福祉的研究

#### （3）教 育 研 修 機 能

長寿医療に従事する各職種を対象とした教育研修

#### （4）情 報 機 能

長寿医療に関する情報の発信及びデータベース化する機能

## 国立循環器病センター研究所 先進医工学センターの開設について

### I. 概要

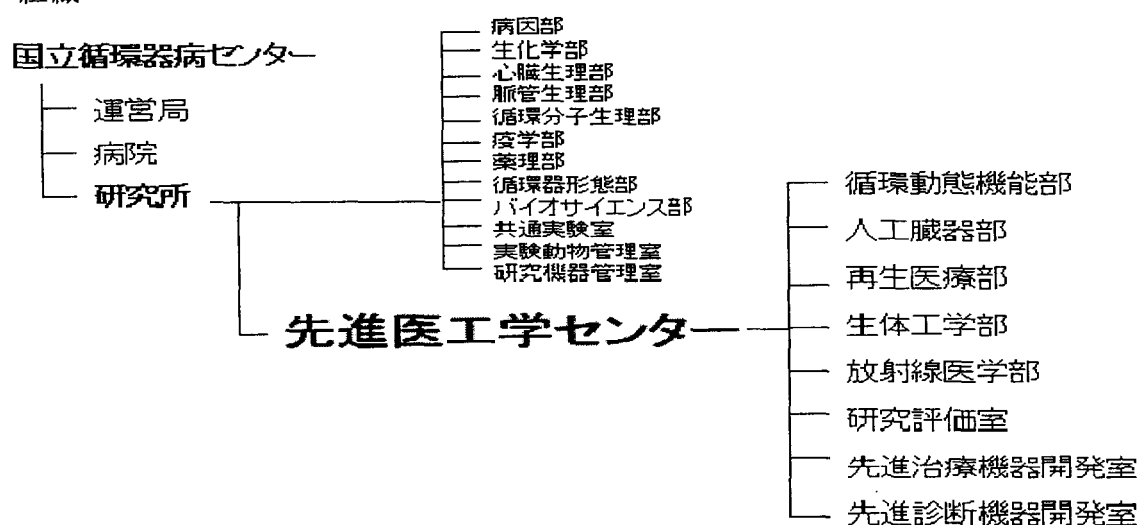
国立循環器病センターでは循環器病制圧に向けて、研究所と病院が一体となって多くの医療技術や医療機器の開発及びその臨床応用に取り組んできた。

今後、「医薬品産業ビジョン」、「医療機器産業ビジョン」に基づき日本発の画期的な医療技術及び医療機器の開発と実用化の推進が求められており、そのためには産学官及び医・薬・理・工学よりなる効果的・効率的な体制と研究所と病院とが一体となった評価・実用化体制の構築、さらに人材育成が不可欠となっている。

このようなことから、かねてより開設の準備を進めてきた先進医工学センターを、平成16年10月1日付けで設置した。

当センターが有するバイオメディカルエンジニアリング、ティッシュエンジニアリング及びナノメディシン等の研究成果・先進技術・知的財産を活用して、臨床応用へのトランスレーショナルリサーチを推進するとともに、先進医工学センターでは、従来の研究組織の枠を超えた横断的な研究体制の下に、将来を見据えた医療技術及び医療機器開発の企画から実用化までを病院と協力連携して総合的に一貫して行うことを目的としている。

### II. 組織



### III. 目標

- ◇ 循環器疾患に関する日本発の医療機器及び医療技術の開発を目指した戦略的研究を実施する。
- ◇ 病院との連携による医師主導型の臨床研究などを積極的に企画・推進し、新規治療法・機器の臨床応用、製品化、企業化に貢献する。
- ◇ 医療機器及び医療技術に関する知的財産を創出し、我が国における医療機器産業の活性化に貢献する。

### IV. 機能

- ◇ 先進医療機器開発の企画・評価  
循環器病制圧のための診断と治療に必要な先進医療機器及び基盤技術開発の戦略策定、並びに具体的な開発研究の企画・評価を行う。
- ◇ 基盤技術開発  
医用材料開発、高度医療情報計測システム開発、再生医療技術開発、評価システム等の開発を行う。
- ◇ 先進医療機器・新医療技術開発  
循環器病制圧のための診断と治療にかかる医療機器の開発、医療技術の開発を行う。
- ◇ 先進医療機器の臨床応用（トランスレーショナルリサーチ）  
国立循環器病センター病院を先進医療技術の臨床研究拠点として位置付け、医療倫理に則り先進医療機器の臨床試験の企画・調整及びその実施を担う。
- ◇ 人材育成  
先進医療機器及び基盤技術の開発を通じて、医学、薬学、理学、工学等融合領域における人材を育成する。

## 国立国際医療センター 国際疾病センターの開設について

### I 概要

国立国際医療センターは、地球的な規模で蔓延する新興感染症等を防止するため、国際疾病センターを平成16年10月1日付で設置した。

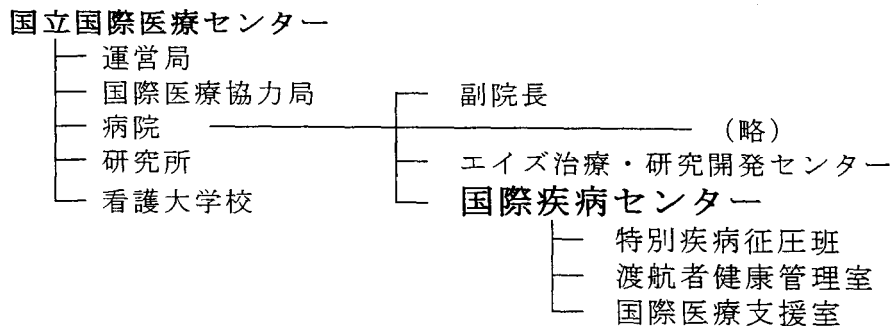
国際疾病センターでは、政府の要請に応じ国内外において迅速に専門家チームを派遣し適正な判断による診断・治療・発生原因の究明を行うとともに、海外渡航者への健康相談や海外医療情報の提供等を行うこととしている。

国際疾病センターには、センター長の下に「特別疾病征圧班」、「渡航者健康管理室」、「国際医療支援室」を編成する。

新興感染症等により不測の事態が発生した場合は、不特定多数者への二次感染や院内感染を引き起こす前に緊急に万全な体制を確立し対応する必要がある。

これまで国立国際医療センターは、ベトナムにおけるSARS制圧等で活躍した実績があり、国内のみならず海外からの医療協力、技術支援、その他各種の要望に応えることが切望されており、国際疾病センターは国際的にも注目視される新たな組織であり、これらの要望に積極的に応えていきたい。

### II 組織



### III 機能

#### ◇特別疾病征圧班

新興感染症発生時においては、特別疾病征圧班が迅速かつ的確な医療活動を行うとともに、現場の医師等への指揮及び専門的な治療・診断を行うことにより、国民に重大な被害をもたらす新興感染症等の征圧に努める。

#### ◇渡航者健康管理室

感染症等に対する予防と防疫のために海外渡航者の健康相談・診断及び医療情報提供並びに予防接種等を行い、感染症を中心とする疾病の蔓延抑制に努める。

#### ◇国際医療支援室

海外の医療に関する情報や生活習慣を詳細に把握し、当該情報を医師及び国民の皆様等に提供することにより適切な治療を指示し、国内への感染症の蔓延防止に努める。